

あおぞらだより

第125号 (発行/平成25年10)

◆特集◆

9月誕生会&敬老会

デイケア&病棟 合同卓球大

開 発

江戸川病院院長 新村ヨシオ



開発は人類に知恵がつき、工夫するようになり、需要の質が高まり、何千年もの時を経て現在まで受け継がれてきた。大陸の奥地には未開の土地があり、原始的な生活を送っている民族もある。狩猟するにも弓矢、吹き矢、槍、毒矢などが主流であり、住居にしても雨風を凌ぐには十分とは言えない粗末な建物で、食事にしても土器で作られ、植物の葉を皿がわりにして手で食べている。人が集まれば集落ができるし、

しかも大量に求められる。農作物や果実を作るために野原を切り開き、焼き畑や果樹を寄せ植えし、造園するようになった。樹皮や綿の発見で繊維ができて、機織りで生地を作り、羽織って寒さを凌げるようになった。木を伐採し、材木に加工し、家を建てるようになった。それぞれに開発が世界中で進められ、服飾にしても合成繊維の進歩も顕著で、防水、保温、放熱の技術革新も想像を超えるものがある。食物にしても一年中同じものを食べられるし、世界中の食品が手に入れられる。住居にしても最上階は高さが150メートルを超える建物が作られるまでになった。

開発は速度・利便性・大量という必要性が求められたことによる。輸送を考えてみると早く目的地にしかも大量に運べるので便利である。飛行機、電車、車、船にしても大量で早く届けられるので重宝である。飛行機、電車、自動車にしても有史以来から見てもたかだか100年ちょっと期間である。この期間でこのような急

(…次ページに続きます。)

激な革新は驚くべき事である。ひとつひとつを考えると調査しなければ知り得ないが、需要を先取りした者や企業が企画し開発してきたからであろう。開発の労力が全て報われることはないので、成功は一握りであったろう。我こそと人を駆り立てたので開発競争が生まれ、先行すれば大成功をおさめられ、脚光を浴びられるのである。更に進歩すれば権利を独占できるから必死になってくる。勤勉さもあるが、貪欲な国民性が日本を近代化させてきたと思われる。その近代化の波が全産業に波及し、本来人が住めない土地を宅地開発すれば地すべり、液状化、自然破壊となって、しっぺ返しされる。

開発はとても危険が伴い、公害も発生し、開発されたものを利用すると生命をおびやかされる。飛行機が世に出るまでは、試験飛行などで事故が起きたし、利用者が墜落で大量死することもあった。車にしても性能向上目的で試験走行中に死亡事故を起こしていたし、車社会になって「走る棺桶」と称される程交通事故死が多かった。大気汚染や騒音問題もある。電車でも昔は沢山の死傷者が出た事故もあった。開発はどんなことでも人の犠牲がつきものである。まだ経験したことのない事に立ち向かっていかななくてはならず、物事には納期があるので、現場の者はストレスに晒され、脱落する人も沢山存在したはずと推察できる。陰で無念の死に至った人も大勢いるであろう。

開発のなかでも原子力発電はとても高度で危険なものと思っていた。クリーンエネルギーを安全神話のなかで発達させ、増設してきた。唯一の被爆国の日本が原子力発電を推進するのは違和感を覚えていたが、日本国の工業製品の優良性が世界を席捲していたこともあって、自身も全く心配していなかった。しかし、東日本大震災が起こり、福島原発事故が発生し、抑制不能になって、本当に危険なものだったと実感させられた。人間は進歩を求めているし、需要がある以上は開発は継続していくのであろう。発展するには開発競争があり、世界規模で考えると止める訳にはいかない。開発された物に依存的になっていくと人間の本質がわからなくなってくる恐れもある。今では機械に動かされている感じがする。いつかは開発した



秋の作品

1 ページ目のちぎり絵、こちらのお習字ともに桃源（D棟、E棟）の皆さんの作品です。

9月誕生会 & 敬老会



原田様ご夫妻。毎月の音楽プログラムにもご協力いただいています。

9月14日は当院のボランティアに来てくださっている原田万里子様、耕様ご夫妻をお迎えし、D棟、E棟の「9月誕生会と敬老会」を行いました。

まずは9月生まれの方々のために、ハッピーバースデーの大合唱。『dear 9月生まれの皆さん〜♪』のフレーズに少し苦労しながらも、楽しく歌いきました。

歌の最後は
「植生の宿」を大合唱。
こちらも名曲です。

♪home sweet home ~



そのあとは、敬老会。古希、喜寿、傘寿・・・と該当の方々が発表され、スタッフ手作りの賞状が渡されました。

そして、お祝いされた皆さんがそれぞれ生まれた年にできた歌(=皆さんと『同い年』の歌)を順番に歌っていきました。長い間歌い継がれた名曲ばかり、なかにはあまりなじみのない歌もありましたが、ご夫妻の暖かいリードで、だんだんと大きな歌声に・・・。皆さんの笑顔も広がりました。

原田様夫妻の独奏、独唱も披露してくださり、美しいピアノの音色と深みのある歌声も堪能させていただきました。

最後はD棟、E棟それぞれ代表の方が、「楽しかった」「いつもありがとう」とすてきなご挨拶でめでてくださいました。

ありがとうございました。どうぞ皆さまいつまでもお元気で！

デイケア & 病棟 合同卓球大会

9月14日、デイケアと3-2病棟合同の卓球大会が開催されました。
総勢20名以上の方々がエントリーし、男女別のトーナメント戦を行いました。

今までも合同でのプログラムはありましたが、卓球大会は初めての試み。
司会、進行、スコアラーなどのスタッフとしても、3-2病棟の皆さんが大活躍。
成功裡に終わりました。

仲間の活躍に声援を送り、その合間になごやかにおしゃべりを楽しみ、
笑顔と活気にあふれた大会となりました。
以下、会場の熱気をお伝えします。



緊迫したラリーが続きます。



決まった!



どうだ!



スマッシュ!

注) 写真が少しぶれて見えるかもしれませんが・・・それだけ皆さんの動きが素早いからなのです。

スコアつけ、応援にも大活躍！
声援にも熱が入ります。

がんばれ！！



熱戦のあとは表彰式です。

大きな拍手のなか賞状
を受け取ります。



皆さんお疲れさまでした。また次回が楽しみです。リベンジ？それともタイトル保守？

消防訓練を行いました

9月17日、野田市消防署南分署の方々に来院いただき、
職員の消防訓練を行いました。



消火器の操作も非常に簡単ではありますが、
いざというときには慌ててしまう方も多いか・・・。
基礎の基礎をしっかりと学びました。
まさに備えあれば憂いなし、ですね。

今月のマメ知識とクイズ

今月 10 月の最後の日、『ハロウィン』ですね。この時期になると、かぼちゃのおもちやお菓子の詰合せが出回り、だいたいポピュラーになった感がありますが、いったい何のお祭りなの？という方も多いのでは？

そもそもハロウィンはケルト人の風習に由来する行事と言われており、特定の宗教との関係はありません。ケルト人にとって 10 月 31 日は 1 年の終わりの日にあたり、死者の霊が降りて来てくれる日と言われています。そして、同時に降りてきてしまう悪い魔女や霊の魔除けのために大きなちょうちんを灯すようになったのが、あの『ジャックランタン』の起源と言われています。(これも諸説あるようですが・・・)

現在のハロウィンでは、オレンジ色の大きなかぼちゃをくり抜いてランタンを作ることがほとんどですが、本来は別の野菜が使われていました。さて、それは何でしょう???

答えはこのページの下にあります。

江戸川病院 10月 院内行事予定

♪誕生会♪ おめでとうございます!!

3-2 棟	10月2日(水)	PM2:00~	病棟
D,E 棟	10月12日(土)	PM2:00~	D棟機能訓練室※
2-1 棟	10月19日(土)	PM2:00~	病棟
1 棟	10月22日(火)	AM10:00~	病棟

※誕生会と「秋のコンサート」を併せて行います。

◆さくらんぼシアター◆ 10月8日(火) PM2:00~ ひまわり

＃新入職員紹介＃

7月1日付 中郡浩子・松尾如乃(看護部)・中島有紀(医療相談室)
9月1日付 佐藤幸穂(看護部)
9月9日付 山崎敏江(看護部)
9月16日付 加藤香(営繕)

皆様のご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願ひしませ

オ

編・集・後・記

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋、と楽しみの多い季節がやってきました。風もさわやか、空も青く過ごしやすい時期でもありますが、季節の変わり目、気温の変化が大きいときでもあります。

皆さまも、どうぞお身体に気をつけてお過ごしください。(医療相談室)

『あおぞらだより』に関するご意見・ご感想・ご投稿などは『医療相談室』までお寄せ下さい。(内線 238)

医療法人社団 全生会 江戸川病院

〒278-0022 千葉県野田市山崎2702
電話 04-7124-5511 (代)
<http://www.edogawa-hp.com>

マメ知識クイズの答え：カブ